

砕石研究会 新会長に高橋東北大特任教授 岩手大と、3大学連携し課題解決



高橋弘会長



坂口清敏副会長

砕石研究会は6月25日、仙台市内のホテルで令和7年度通常総会を開いた。2024年度事業報告ならびに25年度事業計画案等を審議し原案通り承認。役員改選で大塚尚寛会長(岩手大学名誉教授)が体調不良のため退任し、高橋弘東北大学大学院特任教授が会長に新任。副会長は坂口清敏東北大学大学院教授が

新任、今井忠男秋田大学教授と舞石太東北地方砕石協議会会長は再任した。あいさつで高橋新会長は「砕石業界は諸物価高騰や労働力不足など諸課題に直面している。砕石はインフラを構築する資材であり、ひとたび災害が発生すると復旧の最前線に真っ先に必要となり安定供給は極めて重要と

25年度の事業計画は東北の大学および関連学会との連携を密にして最新の研究を行う。研究テーマは①東北地方の砕石資源賦存量等の現状把握②採石場のCO₂排出量削減③採石場の景観と環境問題④採掘終了跡地の修復緑化等と有効利用⑤骨材の品質向上と用途拡大ならびに生産技術⑥砕石

製造副産物の有効利用。東北地方砕石協議会との連携で10月下旬に採石セミナーを開き、岩手県の砕石工場等を見学する。9月の資源・素材学会(札幌)、11月の骨材資源工学会秋季定例研究会への参加を予定する。

24年度の主な事業は東北各県と北海道の砕石関連団体の採石業務管理者試験準備講習会・再教育講習会に講師を派遣し、10月に山梨県で現地研修会、12月に仙台市内で採石セミナーをそれぞれ開催した。24年度末の会員数は法人49社、個人11人である。

総会後の記念講演では、成長、適正な需要量確保、適正な価格で販売の『売り手も買い手も納得』する価格での販売の3点が融合することで砕石の価値を高められる。当研究会の産学の活動により砕石業界を盛り上げた

ACRAC 再生骨材でCO₂削減を 監査報告会、技術講習会開く



柴谷啓一会長

再生骨材コンクリート普及連絡協議会(ACRAC、柴谷啓一会長、会員24社、賛助会員5社)は6月19日、都内で品質監査報告会および技術講習会を開催した。

品質監査報告会では技術部会の細野知之氏(増尾リサイクル朝霞工場長)が制度の紹介をする。同時に、25年度品質管理監査の結果について、審議の結果工場を品質監査適合工場と認定し、マークを付与することを決めた。また、4工場に対して実施した25年度実地検査(採取検査)は、すべての工場が合格をテーマに、研究

報告が行われた。強制炭酸化によるCO₂固定量を測定し「再生粗骨材よりも再生細骨材の方が固定量は多い」「品質が高いものよりも低いものの方が固定量は多い」などのデータが得られた。松田氏は「混和材と炭酸化再生骨材の併用でCO₂を達成できる可能性が高い」と発表した。

冒頭のあいさつで柴谷会長は、HIIAロケットによる「温室効果ガス・水循環観測技術衛星GOSAT-GW」の打ち上げが控えていることを話題にした。温室効果

果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)による観測結果をもとに、地球全体のCO₂濃度が高まっていると訴えた。その上で「我々再生骨材の業界でも、CO₂を減らす努力をしている。また再生骨材がCO₂削減に寄与できる体制をつくりたい」と話した。

講習会では、国土交通省総合政策局公共事業企画調整課の菅原利幸課長補佐が「建設副産物のリサイクル」について説明。資源有効利用促進法、建設リサイクル法を中心に関連法規を紹介し改正の歴史について説明

9月にプラント操業 品質管理研修開催

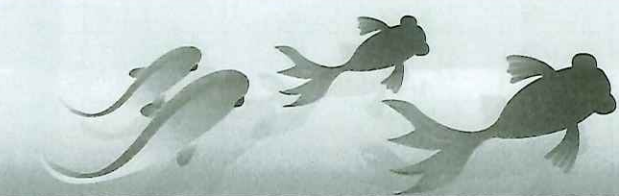
骨材資源工学会

骨材資源工学会(今井忠男会長)は9月8日、富士教育訓練センター(静岡県富士宮市)と会員の甲州砕石・初狩鉱業所(山梨県大月市)において2025年度「プラント操業および品質管理研修」を開催する。工学会の研修事業は2019年度に始まり、コロナ禍による20、21年度の中断を含んで今年度で5回目になる。募集人員は15人程度。富士教育訓練センターのホームページ(<https://www.tup.kdc.ac.jp>)の7月30日まで申し込みを受け付けている。

研修は将来的に採石場および骨材工場の管理運営を担う若手技術者を育成を目的に、原石からの骨材生産、品質管理、安全衛生および環境管理の技術の習得を図る。訓練日数5日、訓練時間37時間、全11科目を行う。安全衛生、プラント設計、採石関連機械、工場実習、骨材試験方法実習、骨材の規格、コンクリート製造、コンク

リット実習、関連法規、公害および景観、採石場の保全。愛知工業大学の岩月栄治教授、岩手大学の齊藤貴教授、会員のプラントメーカーの技術者などが講師を務める。なお、研修期間前日の7日に入校式・ガイダンスを行う。研修費用はひとりあたり21万8605円(税込み)。人材開発支援助成金制度の適用により助成金として一部返金する。

暑中お見舞い申し上げます



一般社団法人
宮城県砕石協会

会長 宮本政士

〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡一丁目6番37号
(TM仙台ビル)
TEL(022)296-0465
FAX(022)296-0466

石は豊かで安心な暮らしを支えています

全国国有林採石協会

会長 塚田陽威

〒112-0004
東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル5F
一般財団法人 日本森林林業振興会東京支部内
TEL.03-3812-3200

一般社団法人
日本砂利協会

会長 橋浦 宗一

〒100-0061
東京都千代田区神田駿河台三丁目一
電話03-5581-3451
FAX03-5581-3452
日光ビル五階

石灰石鉱業協会

会長 森川 玲一
副会長 藤津 二郎
副会長 平田 賢一

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1丁目7番1号
瀬木ビル4F
TEL.03(5687)7650
九州事務所 大分県津久見市合ノ元町5-18
TEL.0972(82)6111
北海道事務所 札幌市中央区南2条1-1-14
TEL.011(233)5371